

妊娠後期妻用記入用紙

平成9年度

厚生省心身障害研究

妊産褥婦へのエモーショナル・サポートに感ずる

他施設共同研究

カード番号 01-03

一般情報

被検者と調査状況

施設

1. 東北大学医学部
2. 埼玉医科大学
3. 北里大学医学部
4. 岡山大学医学部
5. 九州大学医学部
6. その他

妊婦氏名 _____

番号 06-14

生年月日 19__年__月__日 16-17
 18-19
 20-21

面接者名 _____

面接者番号 22-23

調査年月日 19__年__月__日 24-25
 26-27
 28-29

録音同意 1. 同意 30
 2. 不同意

面接内容を録音した場合は、カセット・テープのA面およびカセット・ケースに施設名、妊婦氏名、面接者名、調査年月日を記入し、必ずカセットテープの「つめ」を折った上で保管する。

家族構成

同居者：
 A. 自分の祖父 31-32

- B. 自分の祖母 33-34
- C. 配偶者の祖父 35-36
- D. 配偶者の祖母 37-38
- E. 自分の父 39
- F. 自分の母 40
- G. 配偶者の父 41
- H. 配偶者の母 42
- I. 自分のオジ・オバ 43-44
- J. 配偶者のオジ・オバ 45-46
- K. 自分の兄 47-48
- L. 自分の弟 49-50
- M. 配偶者の兄 51-52
- N. 配偶者の弟 53-54
- O. 自分の姉 55-56
- P. 自分の妹 57-58
- Q. 配偶者の姉 59-60
- R. 配偶者の妹 61-62
- S. 配偶者 63
- T. 自分のオイ・メイ 64-65
- U. 配偶者のオイ・メイ 66-67
- V. その他自分の血縁 68-69
- W. その他配偶者の血縁 70-71
- X. 非血縁の者 72-73

結婚歴と配偶者 カード番号 01-03

現在の結婚状態：
 16

1. 独身
2. 既婚（1年以上の同棲を含む）

過去の結婚歴：
 18

1. 過去の結婚歴なし
2. 離婚（内縁関係の場合は永久的離別）
3. 死別
4. 離婚と死別

▶現在の結婚状態が「独身」で過去の結婚歴が「過去の結婚歴なし」であるなら既往歴へ飛ぶ。

結婚年齢：現在の配偶者との

本人の結婚年齢 _____ 歳 19-20
 夫の結婚年齢 _____ 歳 21-22
 結婚年月日 19__年__月__日 23-24
 25-26
 27-28

結婚様式：

	29
--	----

1. 見合い
2. 恋愛

今回の妊娠

出産予定日：

19	年	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>							30-31
	月	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>							32-33
	日	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>							34-35

最終月経の開始時期：

19	年	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>							36-37
	月	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>							38-39
	日	<table border="1"><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>							40-41
		<table border="1"><tr><td></td></tr></table>		42					

出産予定場所：

1. この病院で
2. 里帰りして生む
3. その他の場所で生む
8. 決めていない・わからない

妊娠歴について特記すべき点あれば空白に記載する。

妊娠歴一覽表

カード番号 103~106 01-03

妊娠コード	妊娠の開始時期						妊娠の終了時期				備考	
	年	月	日	確度	結果	月数	年	月	日	確度		
01												11-29
02												30-48
03												49-67
04												11-29
05												30-48
06												49-67
07												11-29
08												30-48
09												49-67
10												11-29
11												30-48
12												49-67

既往歴

各挿話共通の注意

特定の指示のない限り、各項目は「なし」を1、「あり」を2。

発症と消失：挿話すべてについて、発症時期、発症の確度、消失時期、消失の確度、DSM-IV診断基準に該当するか、過去の妊娠歴との関連についてを既往歴一覧表に記入。2回以上の挿話があれば、最も重症な挿話について評価。ただし、各挿話にDSM-IVの診断を付けるため、最も重症の挿話以外の挿話についても、存在した病状を確認し、余白にメモを取っておく。

発症時期の確度・消失時期の確度：

- | | |
|---------|----------|
| 1. 日の単位 | 2. 旬の単位 |
| 3. 月の単位 | 4. 季節の単位 |
| 5. 年の単位 | |

消失時期：面接時点においても当該症状が認められる場合は、面接年月日を消失年月日

過去の妊娠歴との関連：

- 無関係。いずれの妊娠期間中でもなく、妊娠の終了（流産・死産）後12カ月以内でもない
- 妊娠期間中に発症し、妊娠期間中に消失
- 妊娠期間中に発症し、妊娠の終了後12カ月間に消失
- 妊娠期間中に発症し、妊娠の終了後12カ月を越えて持続
- 妊娠の終了後12カ月間に発症し、その期間中に消失
- 妊娠の終了後12カ月間に発症し、その期間を越えて持続
- その他の経過（既往歴のまとめに詳細を記載する）
- 不明

挿話の回数：現在挿話も含める。DSM-IVの診断基準に該当するか否かにかかわらず、定義に合う症状が持続したものを挿話として数える。

1. 不安挿話

カード番号

1	0	7
---	---	---

 01-03

不安感 [A]：（仕事や学業などの）多数の出来事または活動についての過剰な不安と心配（予期憂慮）が、少なくとも6カ月間、起こる日のほうが起こらない日より多い。特定の物や状況を対象とした不安感は恐怖症の項で評価する。

	16
--	----

▶不安感が「ない」ならパニック挿話へ飛ぶ。

不安挿話の回数：

	17-18
--	-------

不安感の制御困難 [B]：

	19
--	----

焦燥感 [C-1]：安静不能または持続的な焦燥感

	20
--	----

精神的緊張 [C-1]：

	21
--	----

驚愕反応 [C-1]：刺激に対する過敏反応、過度の

	22
--	----

驚愕反応

易疲労性 [C-2]：

	23
--	----

集中困難 [C-3]：刺激に対する過敏反応または集中困難

	24
--	----

易刺激性 [C-4]：

	25
--	----

身体的緊張 [C-5]：筋肉の緊張、こり、痛み、ふるえ（四肢振戦と異なる）

	26
--	----

不眠 [C-6]：入眠困難か途中覚醒

	27
--	----

機能障害 [E]：症状が臨床的に著名な苦痛または、社会的、職業的、または他の重要な領域における機能の障害を引き起こしている。

	28
--	----

全般型不安障害の初発年齢：

	29-30
--	-------

2. パニック挿話

不安発作：強い恐怖または不快を感じるはっきりと他から区別できる期間。10分以内にその頂点に。突発的に出現して少なくとも数分間持続。恐怖の対象・状況にさらされたり、他人の注目的になったときに生じる発作性の不安は含まない。

	31
--	----

▶不安発作がないならば抑うつ挿話へ飛ぶ。

不安発作の頻度：

	32
--	----

- 3週間に2回以下
- 3週間に3回以上
- 4週間に4回以上

パニック挿話の回数：ここでいう挿話は、発作のある日の集合であり、それぞれの発作をひとつずつ挿話と

は言わない。例えば、ある年の3月中に総計8回の発作があり、その前後には発作を認めなかった場合、この1月間を1挿話と考える。

33-34

不安発作中の動悸 [P-1] : 動悸、心悸亢進、または心拍数の増加。

35

不安発作中の発汗 [P-2] :

36

不安発作中の四肢振戦 [P-3] :

37

不安発作中の呼吸困難 [P-4] :

38

不安発作中の窒息感 [P-5] :

39

不安発作中の胸部苦悶 [P-6] : 胸部または上腹部の疼痛または苦悶感

40

不安発作中の吐き気や腹部不調 [P-7] :

41

不安発作中のめまい [P-8] : めまい感、ふらつく感じ、頭が軽くなる感じ、または気が遠くなる感じ

42

不安発作中の非現実感 [P-9] : 現実感消失または離人症状

43

不安発作中の発狂恐怖 [P-10] :

44

不安発作中の死ぬ恐怖 [P-11] :

45

不安発作中の知覚異常 [P-12] : しびれ感ないしうずき感

46

不安発作中の紅潮や冷感 [P-13] :

47

次の発作への心配 [A-2a] : もっと発作が起こるのではないかと心配の継続

48

不安発作の意味への心配 [A-2b] : 発作が持つ意味についての心配

49

不安発作の結果の意味への心配 [A-2b] : 発作の結果が持つ意味(例: コントロールを失う、心臓発作を起こす、" 間違いになる")についての心配

50

不安発作と関連した行動の変化 :

51

パニック障害の初発年齢 :

52-53

3. 抑うつ挿話

カード番号 01-03

抑うつ気分 [A-1] : 患者自身の言明(例えば、悲しみまたは、空虚感を感じる)か、他者の観察(例えば、涙を流しているように見える)によって示される、

ほとんど1日中、ほとんど毎日の抑うつ気分。

16

興味喪失 [A-1] : ほとんど1日中、ほとんど毎日のすべて、またはほとんどすべての活動における興味、喜びの減退(言明または他者の観察)

17

▶抑うつ気分・興味喪失のいずれも「ない」であれば躁性挿話へ飛ぶ。

うつ病の挿話回数 :

18-19

食欲体重変化 [A-3] : 食事療法をしていないのに、著しい体重減少、あるいは体重増加(例えば1カ月間で体重の5%以上の変化)、またはほとんど毎日の、食欲の減退または増加。

20

睡眠変化 [A-4] : ほとんど毎日の不眠または睡眠過多

21

精神運動性障害 [A-5] : ほとんど毎日の精神運動性制止または焦燥。主観的な「おっくうさ」だけでなく、他人から見ても明らかな程度のものを言う。

22

易疲労性 [A-6] : ほとんど毎日易疲労性、または気力の減退

23

自信喪失 [A-7] : 自信および自尊心の喪失。自己評価の低下。

24

自責感 [A-7] : 過剰あるいは不適切な罪責感(妄想的であることもある)。たんに自分をとがめたり、病気になったことに対する罪の意識ではない。

25

集中困難 [A-8] : 思考力や集中力の減退、または、決断困難がほとんど毎日認められる(患者の言明による、または、他者の観察)

26

自殺傾向 [A-9] : 死についての反復思考、特別な計画はないが反復的な自殺念慮、または自殺するためのはっきりした計画。

27

▶自殺行動が「ある」なら節末の自殺でその詳細を聴取する。いったん自殺に飛んでから、ここにもどってもよい。

絶望感 [Dysthymic disorder]

28

機能障害 [C] : 症状は臨床的に著名な苦痛または、社会的、職業的、または他の重要な領域における機能の障害を引き起こしている。

29

大うつ病初発年齢 :

30-31

気分変調性障害初発年齢： 32-33

軽躁病の初発年齢： 49-50

4. 躁性挿話

カード番号 01-03

高揚気分 [A] : その個人にとっては明らかに異常である高揚した気分が少なくとも1週間持続する(入院治療が必要な場合はいかなる期間でもよい)。

34

開放気分 [A] : その個人にとっては明らかに異常である開放的な気分が少なくとも1週間持続する(入院治療が必要な場合はいかなる期間でもよい)。

35

易怒的な気分 [A] : その個人にとっては明らかに異常である易怒的な気分が少なくとも1週間持続する(入院治療が必要な場合はいかなる期間でもよい)。

36

▶ 高揚気分・開放気分・易怒的な気分のいずれも「ない」であれば恐怖性挿話へ飛ぶ。

躁性挿話の挿話回数： 37-38

誇大性 [B-1] : 自尊心の肥大、または誇大

39

睡眠欲求の減少 [B-2] : 例えば、3時間眠っただけでよく休めたと感じる。

40

多弁 [B-3] : 会話心遣

41

観念奔逸 [B-4] : 観念奔逸または思考が競い合うという主観的体験

42

注意散漫 [B-5] : 転導性亢進。注意があまりにも容易に、重要でない関係のない外的刺激に転導される。

43

目標指向性の活動増加 [B-6] : 社会的、職場または学校内、性的のいずれかの通常の行動抑制の喪失による、状況や性格にそぐわない行動。

44

脱抑制 : まずい結果になる可能性が高い快楽的行動に熱中する。むこうみずないし無分別で、危険性を認識しない行動(例えば、制御のきかない買い漁り、性的無分別、馬鹿げた商売への投資などに専念する)。

45

機能障害 [D] : 症状は、社会的、職業的、または他の重要な領域における機能の障害を引き起こしている。

46

躁病の初発年齢： 47-48

恐怖挿話の振り分け

恐怖感 : 不安発作の予期不安は恐怖感ではない。

16

▶ 恐怖感がなければ強迫性挿話へ飛ぶ。

5. 広場恐怖挿話

広場恐怖 [A] : パニック発作またはパニック様症状が予期しないで、または状況に誘発されて起きたときに、逃げるのが困難であるかもしれない(または恥ずかしくなってしまうかもしれない) 場所、または助けが得られない場所にいることについての不安。

- 人混み 17
- 公共の場所 18
- 単独の外出 19
- 単独の旅行 20
- 往來の移動 21

広場恐怖の挿話回数 : 広場恐怖の挿話は、そうした状況に直面すれば恐怖感が起こりうる内的「準備状態」が持続しているものを指し、単にそうした状況に何回直面したかを数えるのではない。

22-23

機能障害 [B] : 恐怖の対象からの回避行動

24

恐怖性障害(広場恐怖)の初発年齢：

25-26

6. 対人恐怖挿話

対人恐怖 [A] : よく知らない人達の前で他人の注視を浴びるかも知れない社会的状況または行為をするという状況の1つまたはそれ以上に対する顕著で持続的恐怖。患者は、自分で恥じをかいたり、恥ずかしい思いをしたりするような形で行動(または不安症状を呈したり)することを恐れる。

- 食事または会話 27
- 知人と出会う 28
- 少人数のパーティや会合 29
- 公衆便所における排泄 30

対人恐怖の挿話回数：対人恐怖の挿話は、そうした状況に直面すれば恐怖感が起こりうる内的「準備状態」が持続しているものを指し、単にそうした状況に何回直面したかを数えるのではない。

		31-32
--	--	-------

不合理感 [C]：

		33
--	--	----

機能障害 [D]：恐怖の対象からの回避行動

		34
--	--	----

恐怖性障害（社会恐怖）の初発年齢：

		35-36
--	--	-------

7. 特定恐怖挿話

単一恐怖 [A]：ある特定の対象または状況の存在、または予期をきっかけに生じた、強く持続的恐怖。広場恐怖や対人恐怖以外のもの。

動物		37
高所		38
雷		39
稲光り		40
暗闇		41
飛行		42
閉所		43
特定の食物		44
歯科治療		45
放射線障害		46
性交時感染		47
血液や傷口		48
特定の疾患		49
特定の薬剤その他による副作用		50
その他		51

単一恐怖の挿話回数：単一恐怖の挿話は、そうした状況に直面すれば恐怖感が起こりうる内的「準備状態」が持続しているものを指し、単にそうした状況に何回直面したかを数えるのではない。

		52-53
--	--	-------

機能障害 [D]：恐怖の対象からの回避行動

		54
--	--	----

不合理感 [C]：

		55
--	--	----

恐怖性障害（単一恐怖）の初発年齢：

		56-57
--	--	-------

8. 強迫性挿話

カード番号

1	1	0
---	---	---

 01-03

強迫観念 [A]：

		16
		17

強迫行為 [A]：

▶強迫観念・強迫行為のいずれも「ない」であれば自殺へ飛ぶ。

強迫性挿話の回数：

		18-19
--	--	-------

不合理感 [B]：

		20
--	--	----

機能障害 [C]：

		21
--	--	----

強迫性障害の初発年齢：

		22-23
--	--	-------

9. 自殺

自殺行動：なんらかの自殺行動。単なる「死にたい」という自殺念慮は扱わない。

▶自殺行動が「なし」ならその他の症状へ飛ぶ。

自殺回数：

		25-26
--	--	-------

時期：該当する自殺行動すべてについて、その行為時期（精神疾患発症時期の欄）、確度（精神疾患発症確度の欄）を既往歴一覧表に記入する。

自殺行為のまとめ：

すべての自殺行為について詳細（理由、深刻さ、自殺手段、意識消失、傷害・中毒の程度、治療の必要性、自殺の場所、救助者、救助の可能性、救助依頼、救助時間）を具体的に記入する。

10. その他の症状

内容を備考に記載する

発症と消失：該当する挿話すべてについて、その発症時期、発症の確度、消失時期、消失の確度を既往歴一覧表に記入する。

受診行動：既往歴に記入したすべての挿話について、受診行動を記入する。

被検者の発言を記載する。

既往歴のまとめ

これまで聴取した現在症と既往歴を、受診行動も含めて詳細に記載する。

妊娠・出産への不安

既往歴一覽表

カード番号 1111~1117 01-03

挿話番号	挿話の発症時期			確度	挿話の消失時期			確度	DSM-IV								過去の妊娠との関連		16-44						
	年	月	日		年	月	日		G	P	A	D	M	D	M	H	A	S		O	S	S	O	C	D

注：DSM-IVの略号 → GAD, 全般性不安障害：PAN, パニック障害：MDE, 大うつ病：DYS, 気分変調性障害：MAN, 躁病：HYP, 軽躁病：AGO, 恐怖性障害（広場恐怖）：SOC, 恐怖性障害（社会恐怖）：SPE, 恐怖性障害（単一恐怖）：OCD, 強迫性障害 診断基準を満たさない, 1：診断基準を満たす 2

挿話番号	挿話の発症時期			確度	挿話の消失時期			確度	DSM-IV								過去の妊娠との関連		16-44	
	年	月	日		年	月	日		GAD	PAN	MDE	DYS	MAN	HYP	AGOC	SOC	SPE	OCD		妊番号

注：DSM-IVの略号 → GAD, 全般性不安障害：PAN, パニック障害：MDE, 大うつ病：DYS, 気分変調性障害：MAN, 躁病：HYP, 軽躁病：AGO, 恐怖性障害（広場恐怖）：SOC, 恐怖性障害（社会恐怖）：SPE, 恐怖性障害（単一恐怖）：OCD, 強迫性障害 診断基準を満たさない, 1：診断基準を満たす 2

↓ **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

周産期の女性のメンタルヘルスに関するアンケート調査